

判断むずかしい

栗山川放流のサケ？

今後の湖上に期待

栗山川でサケが捕れた……というニュースは、すでに新聞やテレビ等で報道され、ご存知の方も多いことと思います。

稚魚を放流してから約四年後に帰ると言われているサケですが、今回、佐倉市にある千葉県内水面水産試験場の研究室長、内田晃さんと、増田修一さん（技師）にお話を伺いました。

サケの卵は 北海道から

「サケの卵は手（15%）から卵を運んできます。約三週間でふ化しますので、その後一週間位エサを与え、放流となります。」

「サケの卵は手（15%）から卵を運んできます。約三週間でふ化しますので、その後一週間位エサを与え、放流となります。」

「サケの卵は手（15%）から卵を運んできます。約三週間でふ化しますので、その後一週間位エサを与え、放流となります。」

サケ発見!!

大量採捕の前日



横芝中学校一年生の、菱木勝雄君（東町）、勝又明君（本町）、矢田部修君（すみれ団地）の三人は大の釣仲間、十二月七日の日も釣の下見に栗山川へ出かけ、午後一時ごろ横芝せきを潮ろうとしているサケを発見しました。

「サケを発見しました。栗山川にサケが帰って来た驚きと喜びの中で、菱木君と勝又君は



行っています。五十二年に一万七千匹、五十三年が十六万匹、五十四年が十八万匹、五十五年が六十五万匹、そして、今年が九十万匹放流する予定です。

無事に帰るのは〇・七%

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

「放流されたサケのその後は、口で海水が適温になるのを待ち、

栗山川採捕記録 (55.11.5~56.1.6)

番号	月日	性別	体長	年令	番号	月日	性別	体長	年令
1	11. 5	♂	57.0	2	14	12. 20	♀	75	4
2	11. 19	♂	61	3	14	12. 21	♂	70	3
3	12. 8	♂	86.2	5	15	12. 23	♂	63	3
4	"	♀	71	3	16	"	♂	55	3
5	"	♂	76.2	3	17	12. 27	♂	80	4
6	"	♀	74	3	18	12. 29	♀	62.0	3
7	"	♀	68.2	3	19	"	♂	59.0	3
8	"	♂	70.6	3	20	12. 31	♀	62	3
9	"				21	1. 3	♀	80	4
10	12. 11	♀	66	3	22	1. 4	♂	80	4
11	12. 13	♀	70		23	1. 5	♀	85	4
12	12. 20	♂	63	3	24	1. 6	♀	70.2	3

※性別の♂はオス、♀はメスを示し、体長の単位cmです。
⑨は網にかかったが取り落したため資料がありません。

約十五度になると北上を始め、四年後に再び帰ってきます。

「何万匹もの稚魚を放流してどの位のサケが帰るのですか

「場所によって違い〇・四%から

「一年です。栗山川の場合には、約

「〇・七%です。また、サケは普通

「四年後に帰ってくると言われていますが、三年目に帰るサケもいますし、五年目に帰るサケもいます。割合は、帰ってくるサケの六十八%から七十%が四年物、二十二%が三年物、七%が二年物、一%が五年物となります。

今年・来年に期待して

「栗山川で捕れているサケは放流したものには間違いありませんか？
「必ずしも間違いありません。十二月末で二十匹のサケが上がっていますが、潮が強かった関係で、他の川へも上がっていますので放流したサケだと断定はできません。今年、来